手

上野賢一

熱戦に負けないエール夏の雲
聞き取れぬ防災無線いわし雲
秋晴れや紅白帽子位置につき
年惜しむ彼方の星に俊太郎
花辛夷園児の行進声高し
能登の田にそそぐ水音夏近し
異常なし病窓越しの五月富士
おつしょいと博多山笠かけまわし
花火待つアリーナ父の肩車
涼風や句碑を辿りて偕楽園
赤い羽根かたむく箱に幼き手
ゆれるトロッコ窓越しの時雨虹
小春空表彰台に金の手話
小春風かかと鳴らして丸の内
節料理厨に二色の割烹着
カメラ手に風と菜の花ローカル線
頬っぺたに米粒ふたつ若葉風
蹴り上げし鼻緒は表天の川
小さき手ですくいこぼして夏氷
雲の峰手話で始まる甲子園